

イノベーションの進化

1934年の創業から現在に至るまで、基盤技術をもとに、持続的に競争優位性を築くためのコア技術を確立しました。そのコア技術と共に発展してきたイノベーションの歴史を紹介します。

1934 フィルム国産化への挑戦
(ガラス乾板〜フィルム)



大日本セルロイド株式会社から
写真フィルム事業を継承し
「富士写真フィルム株式会社」を設立
国産初の映画用ポジフィルムを初出荷

1935



富士クロームフィルム



富士レントゲンフィルム

1936

1940



射点観測写真機



航空写真用レンズ
フジF5 50cm

1948

カラー化への挑戦(白黒〜カラー)と、
高品質なモノづくり文化の確立・システム化



富士カラーフィルム

1950



フジカシックスIA



富士引伸機B型



電子顕微鏡による
ハロゲン化銀解析(研究所)



富士ハンガー型
自動現像機XP-1

1964

映画用フィルムの自社開発を決意。
原材料も戦時下のため、
自給せざるを得ませんでした。

映画用フィルムの国産化
を達成後、一般撮影用
フィルム、印画紙、レント
ゲンフィルムに製品を拡大。
カメラ製造を目指して、
光学ガラスの研究と製造
に成功

シアン、マゼンタ、イエローの3
つの発色層を必要としたため、
多層塗布技術を獲得

混色しないように、カプラーを
それぞれのゼラチン層中に均
一に分散させるため、オイル分
散技術を獲得

カラー発色は、感光した銀塩と現像主薬が反
応し、その反応物とカプラーが反応して発色
する複雑なメカニズム。酸化還元反応を精密
にコントロールする技術を獲得

カメラ、引伸ばし露光装置、現像
処理機を自社開発し、高品質を追
求。このシステム化の過程で必要
なメカ、エレキ、光学技術を獲得

カラー化により使用素材が格段に多くなり、フィルムも
多層になった。高い品質保証・画像レベルが求められた
ことに伴い、技術・プロセスが進化。その過程で微小分
析、微量分析の高度な解析技術と画像技術を獲得

基盤技術

材料 化学

化合物の分子構造、状態を自
在に制御して、不可能に可
能にする新しい材料を作り出す力

銀塩乳剤の研究と製造

(銀塩は高感度の可視光感光性がある物質)

ゼラチンの研究と製造

(優れたゾルゲル特性、銀塩を均一に分散さ
せる特性)

フィルムの研究と製膜

(セルロイドは燃えやすいため、不燃性の「TAC
フィルム」と「PETフィルム」を研究し自社製造)

増感色素の研究と製造

目で見た状態に近い写真画像を生成するた
めに増感色素が不可欠

ロールからロールへの写真用材料の塗布製
造技術

基盤技術

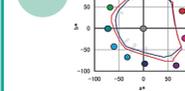
光学



これまで高品位画像を
扱うため磨いてきた独
自の技術に加え、省エ
ネルギー、環境対応技術
を保有しています。デジ
タルカメラ、医療機器
などの各分野のハード
ウェア設計に生かされ
ています。

基盤技術

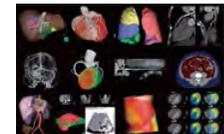
解析



材料の機能設計に欠かせない
機能解析・シミュレーション
技術をはじめ、分子・原子レ
ベルやナノサイズ領域での分
析・解析・評価・シミュレー
ション技術を開発し、さら
に富士フィルムの高度な材
料技術開発を支えています。

基盤技術

画像



写真の特性である画像の色、画
質といった画像品質を評価す
る技術がディスプレイから医
療までさまざまなイメージ
ングの解析・評価に生かされ
ています。

現在 コア技術

粒子形成技術

写真フィルムの感光粒子から
顔料まで、ナノサイズで粒
子をコントロールして形成す
る技術。さまざまな製品の高
機能化を実現しています。

機能性ポリマー 技術

特定の機能を発揮するポリマー
材料を設計・合成する技術。例
えば、マイクロカプセルやミ
クロフィルターなど、機能、品質の優
れた製品を支えています。

機能性分子技術

有機化合物を設計・合成する技術。例
えば色と光をコントロールする分子設
計に基づき化合物を合成し、各種製品
の高機能化を実現しています。高機
能の化成産品開発に貢献しています。

製膜技術

単層/多層/3次元構造のフィルム
を成形する技術。溶液/熔融製膜に
より、さまざまなポリマーのフィル
ム成形が可能で、材料の設計・処方から
加工までの各プロセスに関連します。

精密成形技術

高精度な金型への材料を精密に
転写、固化する技術。レン
ズ、医療機器、化粧品容器
などの設計・製造に生かされ
ています。

精密塗布技術

高機能材料をフィルム上にミク
ロン単位で多層均一にコーテ
ィングする精密塗布技術と、
光学特性などの機能を制御し
てフィルムを流延製膜する技
術。さまざまな機能性フィル
ムを安定的に高品質で製造し
ています。

ナノ分散技術

ナノサイズの微粒子を安定に液
中に分散させる技術。機能性
材料の塗膜液の安定化から
染料、インク、化粧品まで
さまざまな製品の高機能化、
高品質化に貢献しています。

酸化還元 制御技術

有機化合物/無機化合物の連
続的な反応をコントロールす
る技術。「チエキ」などのイ
ンスタントカメラには長年
の写真技術で培われた酸化
還元制御技術が集約されてい
ます。

イノベーションの進化

富士フイルムグループは、コア技術を組み合わせ、さらに新たな技術を獲得することにより、社会課題の解決へと貢献する数々の製品・ソリューションを社会に提供してきました。

1970年～1999年

拡大期

デジタル化への挑戦とグローバル化の加速

2000年代

成長領域の探索期

第二の創業期
～強固な事業ポートフォリオの構築へ

2010年代

成長領域の検証期

事業ポートフォリオの強化と成長の加速へ

2020年代

成長期

社会にポジティブなインパクトをもたらす価値を創出し、マーケットをリード

基盤・コア技術を生かして幅広い製品・ソリューションを展開

ヘルスケア

1983 **世界初**
デジタルX線
画像診断装置
「FCR」発売



Focus [Q 詳細はP26](#)
世界で初めてX線写真のデジタル画像化に成功

2003 **世界初**
「ダブルバルーン内視鏡」発売



2004 **世界初**
フルデジタル内視鏡
「サビエンティア」
発売

2007
エイジングケアを目的とした
スキンケアシリーズ
「ASTALIFT」発売



2011
バイオ医薬品の開発・製造受託
(バイオCDMO) 事業
に本格参入



2018
AI技術ブランド
「REIL」発表



2016
軽量移動型デジタルX線撮影装置
「FUJIFILM DR CALNEO AQRO」発売
携帯型X線撮影装置
「CALNEO Xair」発売

2023
デジタルマンモ
グラフィシステム
「AMULET
SOPHINITY」発売



2021
「医療クラウドサービス」提供

エレクトロニクス

1965 **日本初**
PS版「SK」「GKN」
発売

1983
「フォトレジスト」輸入販売開始後、
製造にも着手

Focus [Q 詳細はP26](#)
フォトレジストや液晶ディスプレイ用カラー
フィルター材料などの製造にも着手し、エレクトロ
ニクス材料事業として発展を遂げる

1996 **世界初**
WV (ワイドビュー)
フィルム発売

2002
液晶ディスプレイ用
ワイドビューフィルムの
本格的な販売を開始

2012
BaFe (バリウムフェライト) 磁性体使用の
大容量磁気テープを開発



2023
半導体用プロセス
ケミカル事業を展開

ビジネスインバークション

1975 **業界初**
フルカラー複写機
「富士ゼロックス6500」発売



Focus [Q 詳細はP26](#)
ソリューションビジネスの先駆け
となる、業務改善につながるア
プリケーションにも注力

1987 **世界初**
印刷・複写の両機能を備えた
「ゼロプリンター100」発売



2002 **業界初**
コンビニ店頭のコピー機から
個人文書を取り出せる
「ネットプリント」サービス開始

2002
中小規模事業所向けインターネット環境
提供サービス「beat」開始

2009
環境負荷削減
ソリューションを提供する
「ApeosPort-
IVシリーズ」発売

2011
ドキュメント共有支援
クラウドサービス
「Working Folder」提供



2020
個室型ワークスペース
「CocoDesk」提供



2023 **世界初**
接着機能を持つ
「圧着トナー」発売



イメージング

1976 **世界初**
高感度カラーネガフィルム
「フジカラーF-II 400」開発



Focus [Q 詳細はP26](#)
アマチュア向けとして世界最高感度を誇るネガ
フィルムを発売し、技術力の高さや製品に対す
る信頼性、ブランドイメージを向上・確立させる

1986 **世界初**
レンズ付フィルム
「フジカラー写ルンです」発売



2000 **世界初**
「スーパーCCDハニカム」
搭載デジタルカメラ
「FinePix 4700Z」発売



1988 **世界初**
フルデジタルカメラ
「FUJIX-DS-1P」開発

1998
インスタントカメラ「チェキ」
「instax mini 10」発売

2015 **世界初**
4Kカメラ対応放送用
ズームレンズ発売



2019 **世界最高**
1億2千万画素のラージ
フォーマットセンサー搭載
「FUJIFILM GFX100」発売



2019
スマートフォン用プリンター
「instax mini Link」発売

2021
ハイブリッド
インスタントカメラ
「instax mini Evo」
発売



※ 民生用ミラーレスデジタルカメラにおいて2019年5月時点。富士フイルム調べ

支えるM&Aなど

1962
富士ゼロックス設立

2001
富士ゼロックス連結子会社化
(当社の出資比率を75%に変更)

2004
米国Arch Chemicals, Inc. より
同社Microelectronic Materials部門を買収

2008
富山化学工業買収
医薬品事業に本格参入

2012
SonoSite買収、
超音波診断分野に参入

2017
和光純薬工業買収

2021
日立製作所の画像診断関連事業を承継した
富士フイルムヘルスケアの買収完了
2022 Inspirata, Inc.のデジタル病理部門買収
2023 Entegris, Inc.よりプロセスケミカル事業を買収